



わっやま夢の学び舎

松原

学校通信まつばら 10月号

令和2年 10月 1日 (第429号)

世田谷区立松原小学校

校長 尾上 佐智子

〒156-0043 世田谷区松原5-43-26

TEL 3322-0191 FAX 3322-4351

URL <http://school.setagaya.ed.jp./maba/>

題字は、彩の会 竹尾昭子先生にお書きいただきました。

子どもたちにとって必要なもの

副校長 久野 浩誉

職員室で仕事をしていると、どこからか軽快な音楽が聞こえてきます。ふと外を見ると、真剣なまなざしで踊る子どもたちがいます。休み時間、校内を回っていると、教室や廊下で音楽をかけながら声を掛け合い、動きを確認する子どもたちの姿があります。運動会で使う道具をもち、衣装をつけて体育館に移動する子どもたちのあいさつが廊下に響きます。子どもたちが帰った後、職員室で隊形移動について考える教員たちがいます。朝、子どもたちが登校する前に廊下で音楽をかけ、汗をかきながら踊る教員の姿があります。4月後半から5月にかけてのいつもの風景です。違うのは、今が9月であるということだけです。

いよいよ10月3日、梅丘中学校の校庭において運動会が行われます。もちろんこのコロナ禍での開催ですから、今までの運動会とはさまざまな面で違いがあります。加えて改修工事により、場所を梅丘中学校に移して実施するという条件も重なりました。全く前例のない運動会ですので、保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をいただきながら運営には細心の注意を払って行いたいと思います。

そんな中でも、変わらないのは、運動会という大きな行事にける生き生きとした子どもたちの姿と、それを熱く指導する教師の姿です。子どもたちにとって、「やはり学校行事が必要なのだ」そして「学校行事でしか学べないものがあるのだ」とその姿を見ていて強く感じます。松原小学校では、あくまで「子どもたちのために」運動会と学芸会を開催するという決定を下しました。行うからには、様々な対策を講じつつも最高のものをと教員たちは一生懸命、準備や指導をすすめています。

いつもとは異なる運動会ですが、その運動会にける子どもたちと教員の変わらぬ「熱」のようなものをぜひ感じていただければと思います。晴れ渡った秋空のもと、躍動する子どもたちの姿と、子どもたちを見守る教員たちの姿にぜひご期待ください。

<10月の行事予定>

1日 (木) 都民の日 授業日	16日 (金) 眼科検診 (全学年)
2日 (金) 全校5時間授業	19日 (月) 避難訓練 学芸会特別時程始
3日 (土) 運動会	全校朝会
5日 (月) 全校朝会	20日 (火) クラブ活動
6日 (火) クラブ活動	23日 (金) 読書旬間終 教育実習終
7日 (水) B時程	24日 (土) 土曜授業日
8日 (木) 児童集会 歯科検診 (2・4・6年)	26日 (月) あいさつ週間始 なかよしタイム
9日 (金) 安全指導日	全校朝会
12日 (月) SOS出し方授業 (5年) 教育実習始	27日 (火) 委員会活動
全校朝会 読書旬間始	30日 (金) あいさつ週間始
13日 (火) クラブ活動	
交通安全教室 (1・3年)	
15日 (木) 歯科検診 (1・3・5年)	

【10月の生活目標】

<生活>学校をきれいにしよう

<保健>目を大切にしよう

<給食>マナーをまもって楽しく食べよう

【人格の完成を目指して】

10月のテーマ：『公共心』

- ・社会や他の人のためになることをすると、自分も嬉しくなりますね。
- ・大勢の人が集まるところで、ふざけたり、大声を出したりしません。
- ・みんなで使うものを大切にしましょう。

やっぱり特別活動

特活主任 関田 裕子

学校の教育活動の中で、国語、算数などの教科の学習の他に、特別活動という分野があります。これは、学級活動（学級目標を達成するための活動）、委員会、クラブ、行事、異学年交流など、教科で学んだことを活かしながら、集団の中で活動していく学習です。

無人島で誰にも関わらずに生きていく、というのであれば別ですが、人は一人では生きていけません。自分とは違う他者と関わって生きていきます。その中で、お互いを認め合いながら、みんなでよりよく生活する態度を育てていくのが特別活動です。また、自分（自分たち）で考え、判断し、決定し、実行し、振り返りをする、それを繰り返し行うことで、自主的・実践的な態度を育てていくことも特別活動では大切にしています。今日、学習したことが、今すぐ身に付いたり生活や学習の中で活かしたりすることばかりではありません。何度も繰り返し学習することで身に付くものもあります。特別活動で身に付ける力は時間がかかることが多いけれど、生きていく上でとても大切です。子どもが自分たちで生き生きと活動していく姿がたくさんみられるよう、子どもたちと共に活動したり、指導したりしていきます。

📖 読書の秋、本に親しもう 📖

図書担当 内田 藍子

10月に入り、涼しく感じられる日が増えてきました。秋は、「〇〇の秋」に例えられるように、何をするにもいい季節とされています。やはり、秋と言えば「読書の秋」、秋の深まりと共に、読書を楽しみませんか。

皆さんは、読書の秋の由来をご存じですか。中国・唐時代の文人である韓愈（かんゆ）が残した詩の中に、「燈火（とうか）親しむべし」という一節があります。その意味は、「秋になると涼さが気持ち良く感じられ、あかり（燈火）に馴染むようになる。」つまり、秋は、読書に一番適した季節であるということを表したこの言葉が、読書の秋の由来とされています。秋は脳の活動に最適な気温になるため、読書や勉強に没頭しやすい時期だそうです。ぜひ、読書の秋に、本に親しんでみてください。

また、10月12日（月）から23日（金）には、読書旬間が始まります。図書委員会が全校のみんながより読書を楽しんでもらえるような企画の計画・準備に取り組んでいます。図書室に、新しい本も入るので、楽しみにしててください。

音楽の「ああだ こうだ なんや かんや」

音楽科専科 坂下 裕美子

コロナ禍で、一体どんなことが音楽の時間にできるのだろう。悶々と考えながら今年度の授業がスタートしました。そんな中、『密』を作らないよう、教室と廊下を使って行った6年生の『ボイスアンサンブル』は久々に行う小さなグループ活動でした。早速、子どもたちは「ああだ こうだ なんや かんや」の活動を始めました。何度も何度も、出てきたアイデアを試し、納得がいかずやり直す。なかなか意見がまとまらず、挙句の果てに仲間割れ・・・気持ちを改め再度出発。試行錯誤を経て、グループで気持ちを集結し、自分の役割を果たした結果、どのグループも個性的でおもしろい『ボイスアンサンブル』が完成しました。

そんな子どもたちの姿を見ていて、「友だちと協働していくことの難しさ」それ以上に「協働して学ぶことの価値」を改めて目の当たりにしました。音楽は一人でも楽しめます。しかし、友だちと「ああだ こうだ なんや かんや」と作り出す音楽もいいなあ・・・とつくづく思いました。早く、思い切り「ああだ こうだ・・・」と『密』に関わり合える環境になることを切に祈ります。